

Futaba

SkyLeaf **Classic** *Sea*

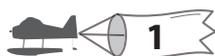
スカイリーフ・クラシック用フロート
＜水上機にする場合のフロート取付方法＞



組立説明書

1M23N28807

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載しないでください。
- 本書の内容、機体の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容は万全を期して作成していますが、万一不明な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- お客様が機器を使用した結果につきましては、責任を負いかねることがございますのでご了承ください。



このたびは スカイリーフ RC プレーンをお買い上げいただきまして
誠にありがとうございます。

ご使用前に、この組立説明書をお読みのうえ、正しく組立て安全にお楽しみください。

このフロートはスカイリーフクラシックを水上機にするために使用します。機体の組立は
機体本体の説明書を使用しフロートの取付はこのフロート取付説明書をご使用ください。

このフロートを取付けると全備重量が本体表記と異なり、2900 ~ 3300g となります。

安全にお使いいただくために

いつも安全に製品をお使いいただくために、以下の点にご注意ください。

本体説明書にプラスして水上機の注意です。本体説明書の注意書きも必ずお読みください。

水上機の注意

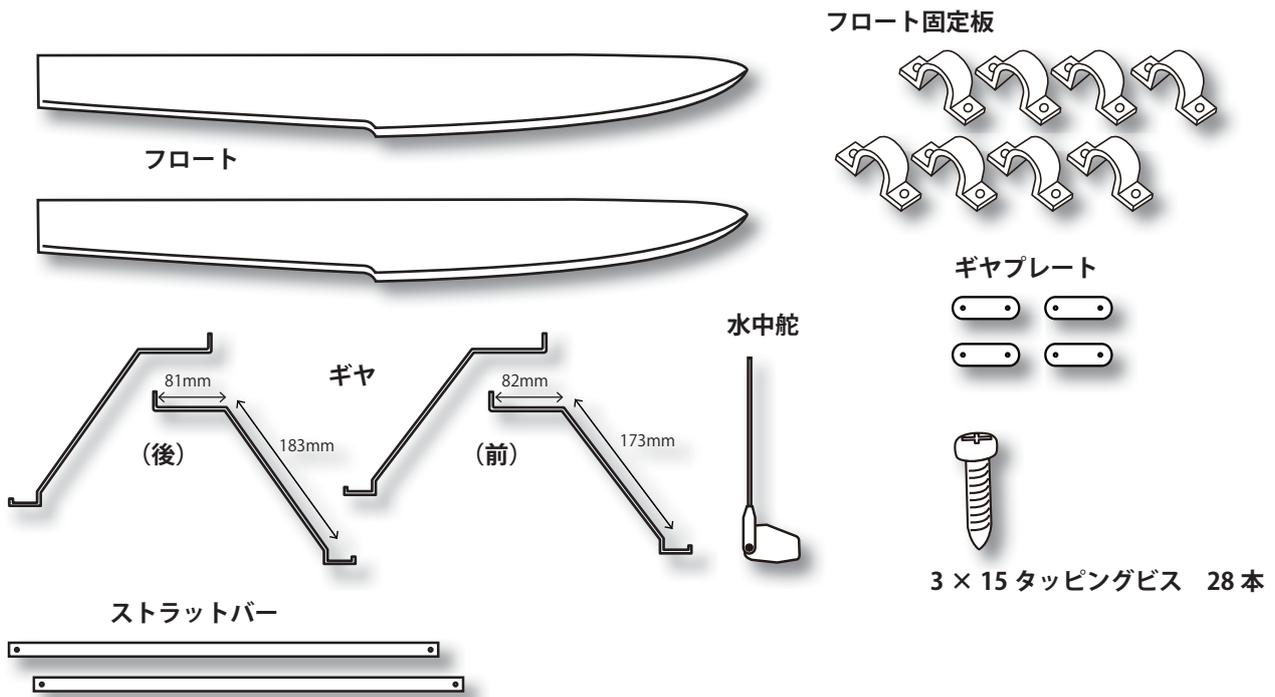
危険

-  組立説明書にしたがって正しく正確に組み立てる。
■組立不良や改造をすると空中分解や墜落する危険性があります。
-  重心位置は指定の範囲内にする。
■フロートを取付けると重心位置が変わる可能性があります。フロートを取付けた状態で重心位置を再チェックしてオモリなど使用して必ず指定の範囲内にしてください。指定範囲をはずれると不安定になり墜落します。
-  組立中、そして完成後に、上級者、インストラクターに機体チェックをしてもらう。
■初心者の単独での組立のまま飛行させるのは危険です。必ずチェックしてもらってください。
-  釣りやボートなど人の近くでは飛行しない。
■人にぶつかると死亡や大ケガの危険性があります。
-  水上でエンストや動作不能になった場合、泳いで取りに行ってもはいけません。
■溺れて死亡や大ケガの危険性があります。回収は安全なボートを使用してください。
-  バッテリーに水分をかけてはいけません。
■ショートして感電、爆発、火災、ヤケドなどの危険性があります。

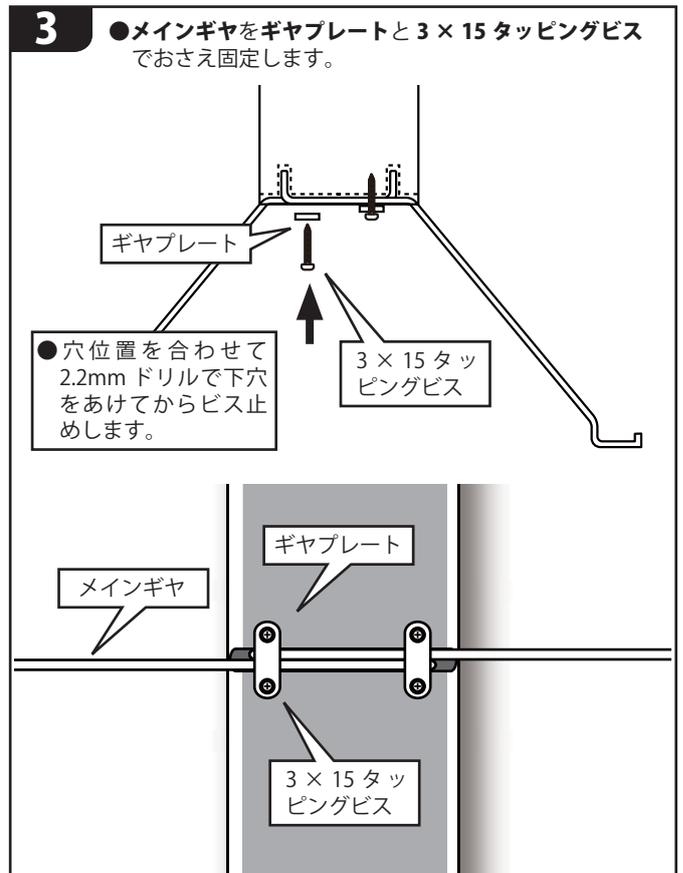
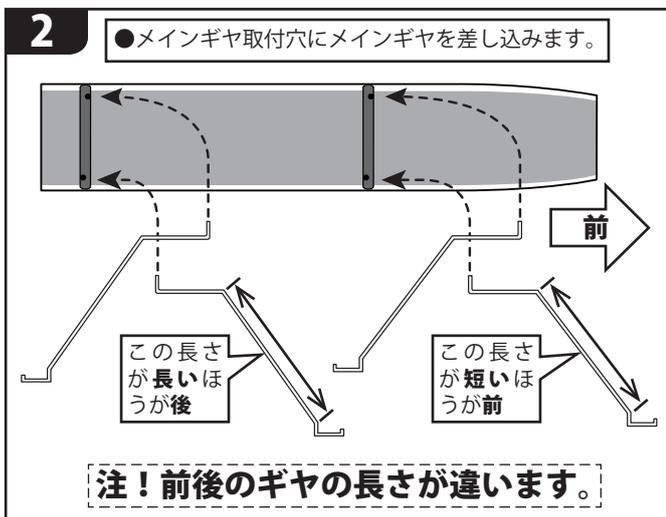
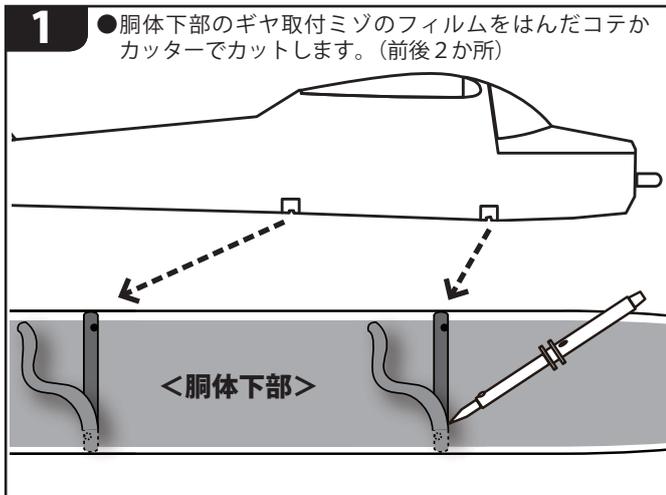
警告

-  海や海のそばの河口で飛行してはいけません。
■水に塩分が含まれていると各機器がサビで使用不能になります。湖や池、穏やかな川で使用してください。
-  波や流れのある場所で飛行しない。
■転覆し破損します。
-  強風時には飛行をしない。
■転覆や回収不能になります。
-  高速で着水・タッチアンドゴーをしない。
■衝撃で機体が破損します。
-  エンジン・モーター・バッテリー・送受信機・サーボ・アンプ・スイッチに水分がかからないようにする。
■水分がかかると故障して修理不能になります。
-  機体内部に水分がはいらないようにする。万一水分がはいったらすぐにドライヤーなどで乾燥させる。
■機体内部は木材なので水分がしみ込み破損します。
-  フロートが付くと重量、空気抵抗が増し、機体の性能が低下します。陸上機より失速しやすくなりますので、機速を落とすすぎないように操縦には十分に注意してください。
■過度の高、低速飛行。急な操舵は避けてください。

✂ 1 フロートに付属しているもの



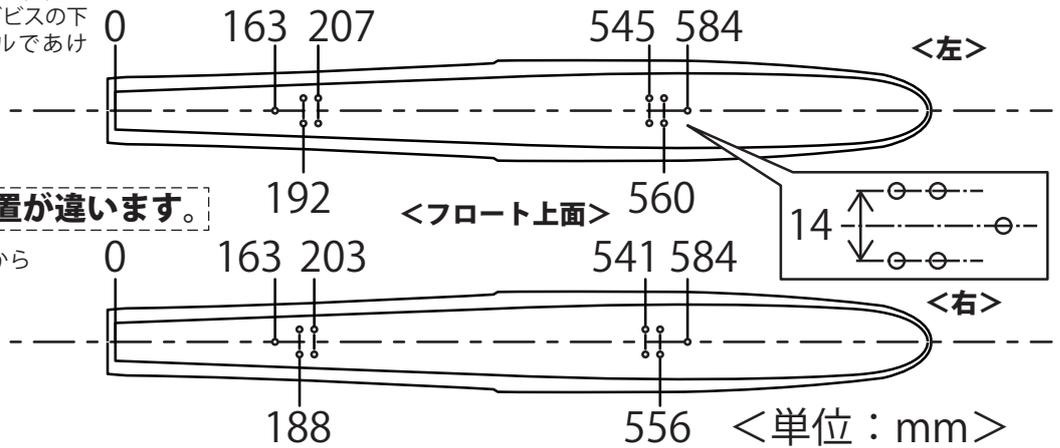
✂ 2 ギヤの取付



3 フロートの取付

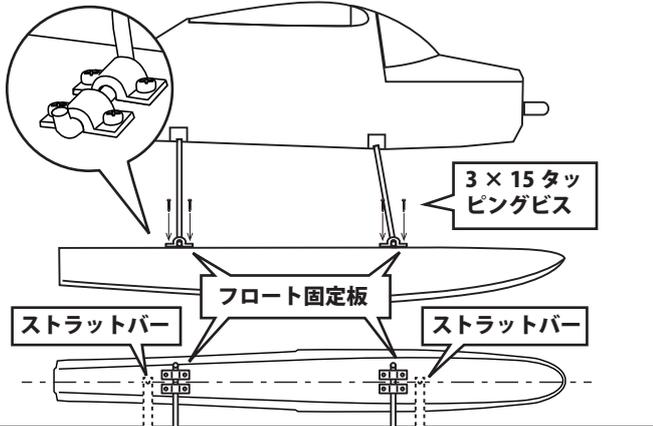
1

- フロート上面の図の位置に3×15タッピングビスの下穴を2.2mmドリルであけます。



2

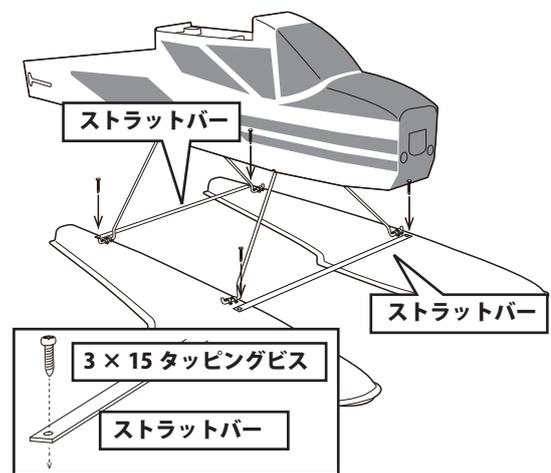
- 左右のフロートをフロート固定板と3×15タッピングビスで固定します。



注! フロートにねじ込むタッピングビスにはあらかじめエポキシ系接着剤やバスコークなどを塗って、フロート内部に水がしみ込まないようにしてください。

3

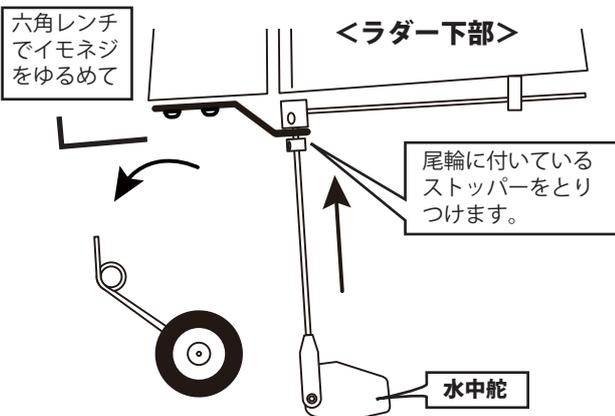
- ストラットバー2本を3×15タッピングビスでフロートに取付けて、左右のフロートをつなぎます。



4 水中舵の取付

1

- 尾輪についているイモネジをゆるめて、尾輪から水中舵に換装します。



フロートに水がはいってしまったら

- 万一フロート内部に水が浸入してしまった場合、重量バランスがくずれて飛行に悪影響があります。その場合フロート上面にドリルで水抜き穴をあけて、水を抜き、乾燥後に穴は防水テープ（別売）でふさいでください。

